

最近のトピックス Topics

「痛い痛い飛んでいけ」 — 麻酔科医が考える慢性疼痛との関係



麻酔科部長
田口 裕之

医師になって5年目の頃、私は帯状疱疹後神経痛に悩む80代後半の女性に鍼治療を行っていました。曲がった腰で息を切らしながらも毎週欠かさず通ってくださる姿に「効いていますね」と声をかけると、彼女は優しく、諭すように微笑みました。「もちろん楽にはなるけど、先生が一生懸命治療してくれるのが嬉しいのよ。この痛みは10年来だから、簡単に良くならないのは分かってるわ」。医療には技術だけでなく心に寄り添う姿勢が欠かせないことを気づかせていただきました。子どもの頃の「痛い痛い飛んでいけ」は、単なる慰めではなく、不安な心に安心を生み出す人の知恵です。

痛みの伝達には、鋭く速い一次痛を伝えるA δ 線維と、遅く鈍い二次痛を伝えるC線維が関与します。一方、触覚を伝えるA β 線維は、脊髄後角で痛み信号を抑制する働きを持ち、鍼やマッサージによる鎮痛はゲイトコントロール理論で説明されます。さらにCT線維は、人肌程度の優しく撫でる刺激で島皮質や前帯状回を介しオキシトシン分泌を促し、安心感を生じさせます。この安心はHPA軸（視床下部—下垂体—副腎系）の過剰な活性化を鎮め、慢性的な痛み感受性の亢進や免疫抑制の悪循環を断ちます。

こうした触覚刺激の鎮静効果は、世界中で古くから行われてきた「手当て」そのものであり、鎮痛とともに相手の存在を受け止め、安心とつながりを伝えるcareの実

践です。careとcureは、どちらもラテン語のcura（注意・気遣い）に由来しているそうです。careは心をかけることを意味し、cureは病を治す行為を指します。現代医学はこの両者の統合の上に成り立ち、手を添える姿勢は業では得られない安心を生み出します。

慢性疼痛では、持続的な末梢入力により中枢感作が生じ、NMDA受容体を介して痛み関連ネットワークが過活動となり、通常では痛みを感じない刺激でも痛みが生じるアロディニアが起こります。治療には心身両面の統合的アプローチが必須です。認知行動療法は破局的思考を修正し、オピオイドは下行性抑制系を強化、ケタミンはNMDA受容体を遮断し中枢感作を抑えます。ガバペンチノイド（プレガバリン、ミロガバリン）は神経障害性疼痛に有効です。さらに心理発達、発達障害、精神疾患、外傷、手術、老化、認知機能障害、スピリチュアルペインなど多層的な要因にも配慮が必要で、患者さんのお話や、生き方に傾聴する姿勢が大切です。

慢性疼痛は神経・心理・社会・スピリチュアルな要素が複雑に絡みあった結果です。「痛い痛い飛んでいけ」や「手当て」、そして「ケア」には安心を共有し、痛みに関わり添う力が込められています。医学（cure）と温もりある手当て（care）を統合した医療こそ、慢性疼痛医療の核心であり、私たちが目指すべき姿と考えます。

理念

私たち
くまもと森都総合病院は
質の高い医療を通じて
地域に愛され、親しまれる
病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



KUMAMOTO
SHINTO
General Hospital

つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL 096-364-6000 (代表)

FAX 096-362-5204

<https://www.k-shinto.or.jp>



写真左から 草野雄貴医師、松本光希医師、光田緑医師

診療科紹介 眼科

2人の常勤医と1人の非常勤医師で様々な眼科疾患に対応しています。先生方の患者さんの中で、眼疾患でお悩みの方がおられましたら、是非当院にご紹介をお願いいたします。診断から治療まで心を入めた医療を提供させていただきます。特に、白内障、角膜疾患、眼瞼結膜疾患や涙道疾患に対する手術に力を入れています。

白内障：加齢に加え、種々の原因で水晶体が混濁してくる疾患が白内障です。視力低下によりQOLの低下を来します。点眼薬などの薬剤では改善しませんので、手術が必要になります。小切開で行う水晶体再建術+眼内レンズ挿入術が主流で、進行した白内障、散瞳不良や角膜混濁がある難症例に対しても工夫を凝らして手術を行っています。ただ、保険診療に該当しない累進焦点眼内レンズは取り扱っていません。

角膜移植：当院は、県下では角膜移植を行っている主たる医療施設で、通常の全層角膜移植、深層角膜移植などの表層角膜移植に加え、角膜内皮移植(DSAEKやDMEK)、培養上皮移植が可能になりました。内皮移植は術後の乱視が少なく、視力回復にかかる時間が短い優れた手術です。ドナー角膜は国内だけでなく米国からの輸入角膜も使用しています。

角膜潰瘍：細菌、真菌、ウイルスやアカントアメーバによる感染性角膜潰瘍とアレルギー機序で起こる非感染性角膜潰瘍があります。当科では初診時に感染性が疑われ

る症例に対しては起炎微生物検索のための角膜擦過を行い、軽症例以外は入院治療を行っています。若年者に見られるソフトコンタクトレンズ装用に関連した緑膿菌角膜炎が多いですが、難治性の角膜真菌症も散見されます。アレルギー機序で起こる周辺部角膜潰瘍は関節リウマチに合併したものの、モーレン潰瘍、カタル性角膜潰瘍などがあり、治療はステロイド薬が主体になります。

眼瞼疾患：眼瞼下垂に対する上眼瞼挙筋短縮術や上眼瞼皮膚切除術、眼瞼内反症に対する眼輪筋短縮術やJones法、睫毛内反症に対する糸掛け術(埋没法)の他、眼瞼腫瘍に対する手術を積極的に行っています。

結膜疾患：翼状片に対する弁移植術(有茎と遊離)、SCCなどの結膜腫瘍に対する手術を行っています。

涙道疾患：流涙や眼脂を生じる鼻涙管閉塞や慢性涙囊炎に対する涙囊鼻腔吻合術(鼻外法)を積極的に行っています。また、頑固な膿性眼脂が続く涙小管炎は、涙点～涙小管内の菌塊(石)の排出が必要です。その他、自然治癒が得られない乳幼児の先天性鼻涙管閉塞に対しては全麻下に開放術+N-Stube留置術(数週後に抜去)を行っています。

外傷(角膜、眼瞼)：角膜異物は、動力草刈り機使用時の鉄片や栗収穫時のイガが多く、術場で摘出を行っています。また、角膜破裂や眼瞼裂傷(涙小管断裂)に対する手術も可能です。

(眼科医長 草野 雄貴)

『第44回 Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ 「痛い痛い飛んでいけ」から学ぶ 麻酔科医の立場から考える温もりの医療

日時 2025年12月18日(木) 17:30~

開催方法 ハイブリッド開催 (Web参加も可能です)

場所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
(<https://bit.ly/3XgsgkV>)



講師 麻酔科 部長 田口 裕之

2025年度

地域医療連携の集い 開催報告



2025年11月12日（火）、ホテル日航熊本において 「2025年度 地域医療連携の集い」を開催いたしました

今年は320名の皆さまにご参加いただき、過去最多の参加となりました。ご多忙の中で臨席いただきました地域医療機関の皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。

第1部の病院紹介では、藤山理事長の開会挨拶に続き、鈴木院長より当院の現状と今後の取り組みについて報告がありました。また、総合診療科・呼吸器内科の吉田部長、腫瘍内科の采田部長から、各診療科の活動や連携の取り組みについて紹介が行われました。地域の先生方や関係職種の皆さまに当院の診療体制をより深くご理解いただく機会となりました。

第2部の懇親会では、大腸肛門病センター高野病院理事長の高野正太先生よりご挨拶と乾杯のご発声をいただき、各医療機関の皆さまとの交流が和やかに進みました。閉会にあたっては大佐古副院長より御礼の挨拶があり、

地域医療のさらなる連携強化を誓い合う場となりました。

今年の参加状況は、昨年度を上回る盛況となり、特に医師の参加が大きく増加したほか、医療ソーシャルワーカーやリハビリ職、臨床放射線技師など多職種の参加も増え、地域連携の広がりを実感する結果となりました。

本会を通じて、日頃から支えてくださる地域の医療機関の皆さまとのつながりを改めて感じることができました。今後も「顔の見える連携」を大切に、地域とともにより良い医療提供を目指してまいります。



地域医療連携室長
肝臓・消化器内科部長
宮瀬 志保



1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

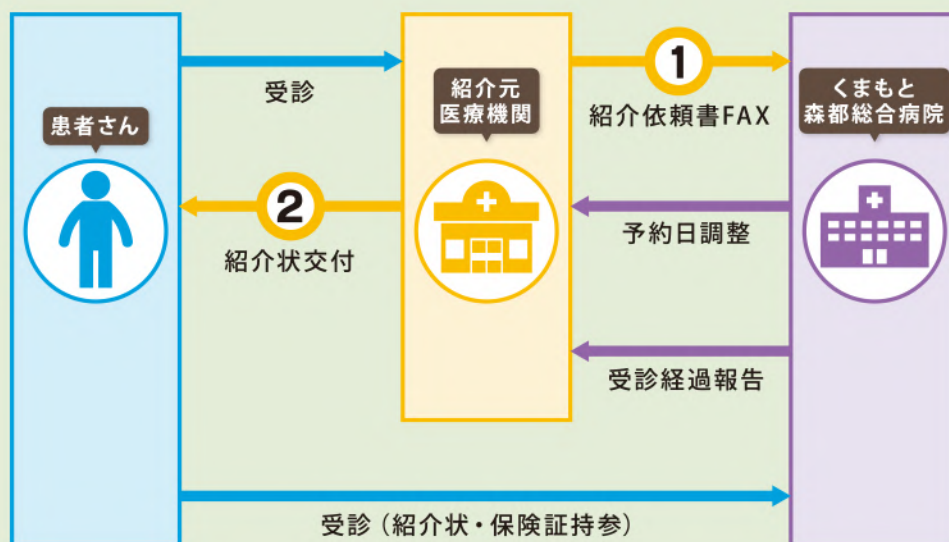
外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいたしますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいたし、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介
について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始) ※急患はこの限りではございません

2025年12月1日現在

		午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕							
総合診療科	午前		濱 諒輔 初診	吉田 知栄子	宮村 智裕	吉田 知栄子	宮村 智裕
	午後		宮村 智裕 再診	濱 諒輔			濱 諒輔
呼吸器内科	午前			吉田 知栄子		吉田 知栄子	
	午後				宮村 智裕 再診		
肝臓・消化器内科	午前		藤山 重俊 袖留木 秀人	宮瀬 志保 泉 見奈	藤山 重俊 束野 奈津己	宮瀬 志保 束野 奈津己	袖留木 秀人 泉 見奈
	午後		宮瀬 志保 束野 奈津己 泉 見奈	束野 奈津己 袖留木 秀人	宮瀬 志保 袖留木 秀人 泉 見奈	袖留木 秀人 泉 見奈	宮瀬 志保 束野 奈津己
内視鏡担当	午前		藤原 志保 坂田 宗一郎	藤原 志保 鈴島 仁 宮川 寿一	下村 泰三 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子	下村 泰三 宮川 寿一
	午後		下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一 鈴島 仁	坂田 宗一郎
血液内科	午前		山本 春風	采田 志麻 山本 春風		采田 志麻	山本 春風
	午後						采田 志麻
腫瘍内科	午前		中西 信博		中西 信博	中西 信博	中西 信博
	午後		中西 信博		中西 信博		
循環器内科	午前					井上 秀樹	井上 秀樹
	午後		井上 秀樹				
腎臓内科	午前		井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹
	午後		井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹
透析室	午前		高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後				高岡 宏和 再診		
リウマチ 膠原病内科	午前				有馬 由佳 (熊大) 再診		
	午後						
代謝・内分泌内科	午前		横山 幸生 田嶋 ルミ子	手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 ルミ子
	午後		手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター (乳腺外科)	午前		初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
	午後		大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子
	手術						
産婦人科	午前		永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠
	午後		片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	永井 隆司 (予約) 岡島 翠 検査
整形外科 (完全予約制)	午前			砥上 若菜 再診	高田 興志 再診		
	午後		担当医 再診				
リハビリテーション科	午前					細川 浩 再診	
眼科 (完全予約制)	午前		草野 雄貴 藤崎 雅彦 松本 光希	草野 雄貴 藤崎 雅彦 松本 光希 (9:30診療開始)	草野 雄貴 藤崎 雅彦 (9:30診療開始)	手術	草野 雄貴 藤崎 雅彦 (9:30診療開始)
	午後		手術	担当医 再診	手術	手術 松本 光希	手術
皮膚科 (完全予約制)	午前		一期崎 優季 松山 恵里奈	池田 勇 松山 恵里奈	池田 勇 一期崎 優季	訪問診療 一期崎 優季 城野 昌義 再診	池田 勇 松山 恵里奈
	午後			手術		回診	手術
緩和ケア科 (外来)	午前			橋口 清明			
緩和ケア面談	-		橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前		木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前		洲崎 祥子 田口 裕之 (術前診療)		田口 裕之 洲崎 祥子 (術前診療)		田口 裕之 田口 裕之 (術前診療)
	午後						田口 裕之
禁煙外来 (予約制)	午前						田口 裕之
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医